

4 要素モデルに基づいた疾病受容に関する面接（成育版）

- 自分自身のことばで、説明してみよう！
- 途中で疑問が出たり、もっと知りたいことが自分で気づけるかもしれません。

1. 病気に関する一般的理解

「診断名は何だろう？」

「病気の特徴は知ってるかな？」

「病気の経過はどうなるのかな？」

「どんな治療が必要かな？」

「治療の良い点と悪い点（副作用）は何だろう？」

「治療を受けない場合の良い点と悪い点は何だろう？」

2. 病気の認識

「先生の説明を聞いて、これはおかしいとか、何か疑問に思うことはないかな」

「治療を受けることが自分のためになると感じているかな」

「どうして、そう思うのかな」

「治療○▲を受ける（治療しない）とあなたの普段の生活にどんな影響があるのかな」

3. 論理的思考

「これまでの自分、そして今の自分がいますね。ずっと病気と付き合ってきました。

すごいことですよ。素晴らしい力をつけてきましたね。

「ご自身にとって、治療を受けることに関して、現在、どのように感じていますか？」

「病気をもつことで嫌だったことはありますか？」

「病気をもつことで、よかったなと思えることはありますか」

「これからの自分にとって、治療を受けるうえでのよいこと、悪いことを教えてください」

「これからの自分にとって、治療を受けないと決めることでの、よいこと、悪いことを教えてください」

「あなたの親はどのような意見でしょうか。聞いていますか？ 親の考えを聴いて、あなたはどのように思いましたか？」

「あなたの友人はどのような意見でしょうか。聞いていますか？ 友人の考えを聴いて、あなたはどのように思いましたか？」

4. 選択する能力

「これまで、あなたのご病気に関するお気持ちとお考えを言葉にしてくださいました。今はどう感じておられま

すか？」

「これからどうしたいと思いますか」

「治療を受けることに関しては、今はどう感じておられますか？」

「今後の治療を決めていくうえで、あなたのお考えを聞かせてください。

- ① 自分の意志だけで決めていきたい
- ② 親と一緒に決めていきたい
- ③ 医者と一緒に決めていきたいなど
- ④ 友人と相談しながら決めていきたい。
- ⑤ なるべく病気に関することは聞きたくない
- ⑥ 自分が必要だと思うことだけ教えてほしい、

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

AYA 世代がん患者に対する精神心理的支援プログラムおよび高校教育の提供方法の開発と実用化に関する研究（代表：堀部敬三、分担：田中恭子）